

Q&A

一般質問

市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、15名の議員が35項目について行いました。

◆中山廣子 議員

- PCR検査等について
- コロナ禍における産前産後ケアと子育て支援について
- 生ごみの処理について

◆石原富子 議員

- 災害時の新型コロナ対策を踏まえた避難所について
- コロナ禍における高齢者の実態調査について

◆関口昌男 議員

- 埼玉東部消防組合の合理化問題について
- コミュニティセンターのワークスペース整備等事業の充実を

◆加藤一生 議員

- 来年度以降の市政の運営方針について
- 職員の労働環境について

◆菱沼あゆ美 議員

- 防災について ○放置自転車について
- 柴山沼について

◆山崎巨裕 議員

- 「ハザードマップ」について
- 「広報しらおか」について
- 「防災教育」について

◆松本栄一 議員

- 信号がない横断歩道での安全確保について
- 中学校へのスマートフォンなどの携帯電話の持込みについて

◆中村匡志 議員

- 市の食糧安全保障体制について
- 行政評価委員会制度及び「ウイズ・コロナ」時代におけるその役割の変容について

◆中川幸廣 議員

- 市内の工業団地における水害の危険性について
- 白岡市におけるインクルーシブ教育の現状と促進について伺う

◆江原浩之 議員

- 犯罪被害者等支援条例について ○小島市長の政治姿勢について

◆渡辺聡一郎 議員

- 外部評価に対する市の見解について
- 市内経済の活性化について
- 子育て環境の整備について ○公共交通について

◆遠藤誠 議員

- 梨農家数、コメ農家数、耕作面積について
- 県東部の東西交通について ○白岡中学校周辺開発について
- コーポレートガバナンス(企業統治)について

◆野々口真由美 議員

- 動物愛護の観点に立った取組について
- 新しい生活様式における選挙について

◆斎藤信治 議員

- 電力調達について

◆細井 公 議員

- 白岡中学校周辺区域の土地利用について

※ 1人につき2項目までを要約して掲載しています。 ※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。

問 生ごみの処理

家庭から出る「燃えるごみ」のおよそ40%が食品関連の生ごみである。生ごみの削減と食品ロスの関係について、今注目をされている。衛生的で、ごみの減量化・堆肥化を図り、持続可能な「循環型社会」の形成に役立つ、生ごみ処理機に助成をしてはどうか。

答 市民啓発を進め循環型社会形成に努める

当該機器の購入補助事業については、平成8年度から平成17年度まで実施していた。所期の目的が達成された現状では、再度制度化は難しい状況である。引き続き、ごみの減量化に向けた市民への啓発を進め、未来につながる循環型社会の形成に努めていきたい。



中山廣子 議員
(公明党)



問 コロナ禍における産前産後ケアと支援

核家族が大半を占める環境の中、コロナ禍で自粛状態が続く、精神的にも辛い状況にある妊婦さんや子育て世代の方々にとり、子育て世代包括支援センターの事業や存在は重要である。外出に不安を感じる妊婦さんや若いお母さんの為に、オンライン面談等の導入を。

答 様々な媒体を活用し、必要な支援を行う

保健師等専門職が、電話相談や希望者には個別の面談を実施し、継続的な育児支援を行うほか、市公式ホームページには、沐浴手順の動画をアップするなど子育て世代の方々への不安解消に努めている。今後も優先度の高いものから、必要な支援を工夫して実施する。